

【自然体験ゾーン コンセプト】

～自然に触れて感じる～

豊かな自然を楽しむアクティビティな空間

●整備方針

- ・公園全体を周遊できる園路を整備する。
- ・自然豊かな地形をいかした園路を設定する。高低差に応じてデッキ、階段の採用も検討する。
- ・勾配: 地形に応じた勾配の設定
※可能な限り 5% (地形的に難しい場合は 8%)
- ・幅員: 2.0m
- ・舗装材: 透水性高炉スラグ舗装
- ・園路の途中には休憩や交流ができる「滞留スペース」を設定。
- ・高低差を処理する土留めや階段、転落防止柵などの施設は景観性に配慮できるような素材を採用する。

●滞留スペース①

- ・ウォーキングや野球場利用者が休憩・交流できるよう、滞留スペースを設ける。
- ・現在、木陰空間が形成されていることから、現況をいかし、ベンチや縁台等を配置する。



●滞留スペース②

- ・ウォーキング利用者が休憩・交流できるよう、滞留スペースを設ける。
- ・自然体験ゾーンの拠点となり、ピクニックなどができるような溜まり場を設ける。
- ・文化財収蔵庫の解説サインや散策路のルート図などを配置する。
- ・管理車両が転回できるよう、平場を設ける。



●園路舗装

- ・景観性に配慮され、透水性の機能をもつ透水性高炉スラグ舗装を採用する。



※ () は現況高を示す